

(社) 日本原子力学会
第74回倫理委員会議事要旨

日 時 平成25年11月13日(水) 13:30~17:00
場 所 日本原子力学会 事務局会議室
出席者 大場委員長、宮越副委員長、作田幹事、内山委員、北村委員、関村委員、
中野委員、名倉委員、林委員
柴田理事 (10名: 委員名簿順)

配布資料

- 資料74-1 第73回倫理委員会議事要旨(案)
- 資料74-2 2014年春の年会(3/26-28)企画セッション提案書
- 資料74-3 第17回倫理研究会当日の役割分担及び事前準備等について
- 資料74-4(1) 倫理規程改訂状況について
- 資料74-4(2) 倫理規程・倫理憲章見直しのためのワークシート
- 資料74-4(3) 行動の手引作成ワークシート
- 資料74-4(4) 日本原子力学会倫理規程前文改定案
- 資料74-5(1) 「平成26年度予算申請」依頼の件
- 資料74-5(2) 日本工学会技術倫理協議会第9回公開シンポジウム
- 資料74-5(3) 日本工学教育協会技術者倫理調査研究委員会第1回国際ワークショップ
- 資料74-5(4) 技術者倫理教育の実施計画(案)
- 資料74-5(5) 平成25年度工学倫理講演会の案内

議事

1. 資料74-1により、前回議事要旨(案)を確認し、4項倫理規程の改訂案に関する一部の表現を簡略化することで了承された。
2. 資料74-2により、2014年春の年会企画セッション提案書について、作田幹事から説明があった。テーマなどについては、学会としての言葉の統一の観点から、「改訂」から「改定」とした。本セッションは一般公開としていること、および講演内容の対象者が必ずしも出席されない可能性もあるので、作田幹事が講演者に対して内容の再確認と、倫理委員会としても大変参考になると思われるので1月度の倫理委員会で紹介していただくことをお願いすることとした。
また、大場委員長から理事会セッションにおいても、倫理規程改訂について15分程度報告するとの紹介があった。
3. 資料74-3により、第17回倫理研究会当日の役割分担及び事前準備等について、内山委員から紹介があった。各役割の責任者は、全体:内山委員、名倉委員、会場:関村委員、受付:林委員、庶務:作田幹事とし、他の倫理委員は協力することとした。案内文に講師紹介、講演概要、学会員外および当日参加も可能であることを内山委員および名倉委員が追記することとした。倫理委員は大学、電力会社やメーカーなどに案内文を周知

し、参加者を募ることとした。作田幹事は、倫理委員会ホームページに案内文を掲載することとした。ケースブックについては、ブック 2 : 40 冊、ブック 3 : 520 冊の在庫があることから、本研究会の場でも有償頒布することとした。

4. 資料74-4(1)(2)(3)により、倫理規程全体の改訂案について、宮越副委員長から説明があった。また、資料74-4(4)により、倫理規程前文の改訂案について、大場委員長から説明があった。倫理規程前文については、「リスク」が最初に出てくるのは違和感がある、趣旨はよいがカタカナをどこまで入れるか、ハザードを認識してリスクを低減していくことはよい、「人類の福祉と持続的発展ならびに地域と地球の環境保全への貢献を前提に」とするなどの意見があった。憲章について、公衆優先原則のうち、1項「便益」と2項「安全の確保」は案通り別項目として記載したほうがよい、7項「組織と個人」についてまだわかりにくいとの意見があった。わかりにくい点は、条文の見直しとともに、わかりやすい「解説」を残しておくこととした。前文には、東電福島事故の文言を記載することとした。規程全体としては、産業界だけでなく、教育分野、放射線治療など医療分野、サイエンスレベルの研究領域も視野に入れた見直しが必要との意見があった。本議論を踏まえて、倫理委員全員は、11月30日までに規程改訂案に対するコメントをメールで宮越副委員長に回答することとした。

5. 資料 74-5(1)により、平成 26 年度予算申請の件について、作田幹事から説明があった。今までの月次管理から上期と下期の管理に移行することとした。倫理規程やその補足説明を加えた冊子作成の予算を盛り込むこととし、作田幹事が予算案を作成のうえ、11月25日までに倫理委員に対してメールでコメントを求めることとした。

資料 74-5(2)(3)により、日本工学会技術倫理協議会第 9 回公開シンポジウム、および日本工学教育協会技術者倫理調査研究委員会第 1 回国際ワークショップについて、宮越副委員長から説明があった。

資料 74-5(4)により、技術者倫理教育の実施計画（案）について、林委員から説明があった。倫理委員会としては、JAEA 殿の倫理教育を支援することを確認した。林委員は、本教育（講演会）がより現場の実践に結びつくような実施計画案を検討し、倫理委員にメールで送付することとした。

資料 74-5(5)により、平成 25 年度工学倫理講演会について、関村委員から紹介があった。

6. 次回倫理委員会は、12月12日（木）13:30～（学会事務局）、次々回は、平成 26 年 1 月 15 日（水）13:30～（学会事務局）とすることとした。

以上